

科目区分	専門分野	科目名	成人看護援助論Ⅴ (血液・造血器、 女性生殖器、自己免疫)	対象学生	第2学年
		単位数(時間数)	1単位(30時間)	学 期	第2学期
担当講師	(院内講師)、(院内講師)、 (院内講師)、田村 智子			実務経験	有
科目目標	1. 終末期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴とその健康課題を理解する。 2. 血液・造血器疾患、自己免疫疾患、女性生殖器疾患患者の看護を理解する。 3. 対象の看護に必要な技術を習得する。				
授業計画	第1～3回 血液・造血器疾患患者の看護 (講義) 1. 主な症状のある患者の看護 2. 治療・検査を受ける患者の看護 (骨髄刺等) 3. 主な疾患患者の看護 1) 白血病 2) 悪性リンパ腫 3) 造血幹細胞移植 第4～5回 自己免疫疾患患者の看護 (講義) 1. 主な症状のある患者の看護 2. 治療・検査を受ける患者の看護 3. 主な疾患患者の看護 ①SLE ②HIV 第6～9回 女性生殖器疾患患者の看護 (講義) 1. 子宮筋腫 2. 子宮がん 3. 卵巣腫瘍 4. 乳がん 治療を受ける患者の看護 (ホ르몬療法、化学療法、手術療法、放射線療法) がん患者と家族への看護、がん患者の抱える苦痛(身体的・心理的苦痛、心理的苦痛、社会的偏見や制約に伴う苦痛、スピリチュアルな苦痛へのケア)、がん患者の生活上の困難、がん患者の治療と看護、がん患者の社会的参加への支援 第10～14回 終末期にある乳がん患者の看護の思考 (講義、GW) 1. 対象の特徴と看護のポイント 1) 終末期にある対象の特徴 死の受容過程、全人的苦痛 (トータルペイン)、霊的苦痛 (スピリチュアルペイン) 2) 人生の最期の時を支える看護 (1) 緩和ケア、症状マネジメント、ターミナルケア、ホスピスケア (2) エンド・オブ・ライフケア、意思決定支援、アドバンスケアプランニング (3) 家族ケア、予期的悲嘆、グリーフケア、代理意思決定支援、脳死状態への対応 2. 看護過程の展開に必要な情報収集と分析の視点 3. 看護上の問題の明確化 4. 計画実施 ロールプレイ (GW) 第15回 終了試験				
評価方法	筆記試験				
テキスト	系統看護学講座 血液・造血器 成人看護学④ 医学書院 系統看護学講座 女性生殖器 成人看護学⑨ 医学書院 系統看護学講座 アレルギー・膠原病・感染症 成人看護⑪ 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院				
講師からのメッセージ	臨床で遭遇する頻度が高く基本的知識として必要な内容を選択して教授する。 形態と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、基礎看護援助論、成人看護学概論などの学習を想起し講義に臨む。国家試験出題基準を確認し学習すること。				